

模写の手順

START

01.元画像の横縦のピクセル数を調べる
・画像サイズは縦横とも1000ピクセル以上のものが望ましい

02.Jtrimなどで参考図に余白を追加する（縦横のうち短い辺の10%程度）

03.この画像の横縦のピクセル数を確認し、パワーポイントのスライドサイズをこの縦横比と同じにする
・スライドサイズは元画像の精緻さに応じて設定（縦横とも20～140cm）する

04.「背景の書式設定」で02.の画像を2枚のスライドの背景に設定する
・1枚目のスライドは描画用
・2枚目のスライドは後述するブロックの組み立て用

05.元画像のブロック化（図形のグループ化単位）戦略を立てる
・例えば、人物であれば、顔、胴体、両手、両足、様々な物や背景などが考えられる

06.線や面の輪郭線を描く際のパレット図形を複数用意する
・線は細い方がよい（1pt以下）
・面図形の場合は適当に色塗りをして透明度を90%以上にする（こうすることで元図形が透けて見ると共に図形の選択がし易くなる）
・パレットは描画の邪魔にならないようにスライドの余白に配置する

07.描こうとする図形に応じて適当なパレットを選択し、右クリックして「既定の図形に設定」する

08.ブロック内の図形の描画（線画）を行う

余白を加えた元画像の例



パレットの例



09.ブロック内に描いていない図形があれば
07.に戻る

10.ブロック内の描画（線画）が終了したらブロック内の図形をグループして、元画像から引き離す

11.元画像を見ながら描画（線画）の書式設定（線や面の色塗、グラデーション、面取り、ぼかし、光彩など）を行う

12.ブロック内の全ての図形の書式設定が終了したらブロックを元画像の位置に戻す

13.ブロックを切り取って2枚目のスライドに張り付ける（1枚目のスライドと同じ位置に貼りつく）

14.2枚目のスライドに移動し、既に別の書式設定されたブロックがある場合はブロック間の境界線の修正や図形の書式設定の調整を行う

15.描いていないブロックがあれば07.に戻る

16.全てのブロックの描画と書式設定が終了したので、全てのブロックを選択して全体をひとつにグループ化する

17.上記の全グループ（ブロック）図形をコピーする

18.3枚目のスライドを白紙状態で作成する

19.3枚目のスライドに移動し、17.でコピーしたものを「Pngとし貼り付け」る

20.貼り付けられた画像をトリミングして周囲の不要部分を取り除く

21.トリミングされた画像を選択し、右クリックして「図として保存」する（PngでもJpegでもよい）

22.必要に応じて、下記のような道具を用いて画像の修正をしてもよい

- ・パワーポイントの図ツール
- ・画像編集ソフト（Pixlr Editorなど）

END